

クラウド実践テーマ：顧客満足度の向上、従業員満足度の向上、業務効率の改善

業種：製造業（半導体・液晶・光通信向け石英ガラスの製造・販売）

企業名：株式会社オハラ・クオーツ（和歌山県和歌山市） 【従業員数：93名】

クラウド実践により災害時に継続的に顧客対応・社内コミュニケーションを実現

1 経営課題

・社内外コミュニケーションのためのグループウェアおよび購買・販売・会計の各システムについては、サーバーを本社に設置していたが、災害による損壊や停電等でサーバーが停止すると、即時の復旧は困難であり、最悪の場合データが全て消失してしまう恐れがあった。

2 クラウド実践による課題解決

BCP 対策を目的としたクラウドサービス実践

・クラウドサービス実践により災害時に継続的に顧客対応・社内コミュニケーションを行う。
・導入後の運用については、グループウェアの過去データ（メール）をクラウドサービスへ取り込むことができず、過去メールの閲覧が必要な場合は、ユーザー毎に過去メールをローカルパソコンへ保存しておく、あるいは旧グループウェアサーバーをオフラインで起動し参照させる等の工夫が必要である。

3 導入したクラウドサービス（導入期間：6年2ヶ月）

- ・メールサービス
- ・販売管理システム
- ・会計システム

4 課題解決に向けた組織運営

・社内の IT 推進人員の増員はできなかったため、IT ベンダーの営業・技術・教育の各担当者による全面的な協力を受けた。

5 実践事例の成果

・自社の事業所が災害等の被害を受けた場合でも、データは全てクラウドにあるため、顧客に対しての継続的な対応が可能となった。